

| | |
|--------------------|---|
| 科目名称 | 武道実習 |
| 授業コード | BN412 |
| 英語名称 | |
| 学期 | 2024年度前期 |
| 単位 | 1.0 |
| 担当教員 | 松井 高光 |
| 記入不要 ナンバリングコード | |
| 授業の概要 | 武道特性を理解し、技能の向上を図るとともに、武道の授業を行うための指導法を理解する。授業において留意すべき点、とくに安全面への配慮を理解する。武道の基本動作や技能を習得するだけでなく、成り立ちや教育的意義についても理解する。 |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | この授業を担当する教員は、大学公開講座、部活動指導などで、初心者から選手まで様々な身体能力レベルの受講者に柔道を専門的に指導してきた経験がある。当該授業は、担当教員の実務経験に基づいて、到達目標に示した知識や技能の習得を目指して実施される。 |
| 到達目標 | カリキュラムポリシーに掲げる「教職に求められる専門的知識や実践力を養う」ために、教科の応用的知識や技能を学ぶこの科目では、武道の成り立ち、教育的意義、技術構造、技の理合を理解するとともに、基本動作や対人的技能を修得し、さらに試合審判規定、審判法、指導法についても学び、実際に試合や審判ができる、体育授業における指導ができるレベルを到達目標とする。 |
| 計画・内容 | <p>オリエンテーション、礼法、基本姿勢、基本動作</p> <p>柔道着の着方、受け身の習得（後ろ受け身、横受け身）、柔道場でできる体づくりの動きやゲーム</p> <p>受け身の習得（前回り受け身）、固め技について</p> <p>投げ技について</p> <p>投げ技に関する技能の習得（体落とし）、固め技に関する技能の習得（袈裟固め）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（膝車、支え釣り込み足）、固め技に関する技能の習得（横四方固め）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（大内刈り、小内刈り、大外刈り）、固め技に関する技能の習得（上四方固め）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（背負い投げ、釣り込み腰、大腰）、固め技に関する技能の習得（縦四方固め）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（送り足払い、出足払い）、固め技に関する技能の習得（肩固め）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（跳ね腰、内股、払腰）、固め技に関する技能の習得（返し方）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（巴投げ、浮き技）、固め技に関する技能の習得（締め技）、投の形の習得</p> <p>投げ技に関する技能の習得（変化技、返し技）、固め技に関する技能の習得（関節技）、投の形の習得</p> <p>約束練習、自由練習、試合審判規定の解説、投の形の習得</p> <p>約束練習、自由練習、試合および審判、投の形の習得</p> <p>まとめ</p> |
| 授業の進め方 | 技能的な学習を中心に行うが、適宜講義も行う。 |
| 能動的な学びの実施 | 自ら技術に関しての探索を行い、次回授業に活かすようにする。 |
| 授業時間外の学修 | 武道の歴史、競技規則、技術の構造などに関して学習する。 |

| | |
|------------------------------------|--|
| 教科書・参考書 | いちばんわかりやすい柔道の教科書 土屋書店 中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育 昇段審査のための柔道の形入門 大泉書店 |
| 成績評価方法と基準 | 授業態度，技能等を総合的に判断し，評価する． |
| 課題等に対するフィードバック | 毎回の課題と問題点に関しては授業時に説明を行う |
| オフィスアワー | CampusSquareを参照 |
| 留意事項 | 柔道衣は必ず持参する事．授業前に中学校および高等学校学習指導要領を熟読し，中学校および高等学校における武道教育の意義について理解をしておくこと． |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」 | zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる． 授業毎の課題レポート（４０％）と期末レポート（６０％）で総合的に評価する． |